

てくのカップルール

姿勢

- 山積みは牌を完全裏返して混ぜ、全ての牌が裏返しの状態で積み始める。
- 全ての行為は発声が優先です。発声ははっきりと他の3人に聞こえるようにしましょう。
- 手牌に関する発言は誤解を招くので口にしない。余計な音も立てないようにしましょう。
- 局途中や局終了後の解説は禁止。止めた牌等見せず 他家のアガリ時も静かに伏せましょう。

ルール

- 喰いタンあり・後付けあり（アガった瞬間に1翻あればok）。
- 東南戦、3万点持ち、1ゲームの時間制限あり（その局の終了まで）。
- 記録は各自記入、合計が多い時はトップから引き少ない時はそのまま。
- 順位点自動計算(1着+1万点/2着+5千点/3着▲5千点/4着▲1万点)で同着は上家上位。
- ノーテンは場に3千点。形式テンパイあり。連チャン（聴牌連チャン含む）あり。
親がノーテンなら親流れでオラスなら終了（残ったリーチ棒は誰のものにもならない）。
- 場積み（1本場等）なし。
- 4翻30符（役+ドラ）は子で8,000点・親で12,000点に切り上げ。60符も同様。
- あがり者は常に一人（同時あがりは頭ハネ）。
- 役満のパオ（責任払い）は大三元の3フーロ・大四喜の4フーロ目をポンあるいはカンさせた時とし、ツモは全額・ロンは半額負担。役満はシングルのみ。
- 途中流局なし（九種倒牌・四風連打・四人リーチ）、及び流し満貫なし。
- 人和なし、カン振り役なし、嶺上開花ツモでの責任払いなし。
- 喰い替え可。二三四の一萬をチーして四萬を捨ててもよいので打牌による制限は一切なし。

リーチ

- フリテンリーチ可能。
- リーチ後のツモ牌選択あり（安目をつもって捨ててもよいが、もちろんフリテンとなる）。
- 一発・裏ドラ・カンドラあり。
- ノーテンリーチは流局時にチョンボ（局の途中で他家に伝えてはいけない）。
- リーチ後の暗カンはメンツ構成が変わらない場合のみ可能。

裁定

- チョンボ 誤って手牌を倒牌、及びゲーム続行不能にした場合は他家に5,000点ずつをその場で支払い。その局のリーチ棒は供託した人に戻す、親は移動しない。
- アガリ放棄 誤発声はすべてアガリ放棄、それ以降の発声行為は出来ず、ノーテン扱い。
※アガリ放棄後に、もし発声行為をした場合はチョンボにせず行為を戻し続行する。

ルール、すべての裁定は審判に従う。